

No. 28

1994

4月25日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
下井武平
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



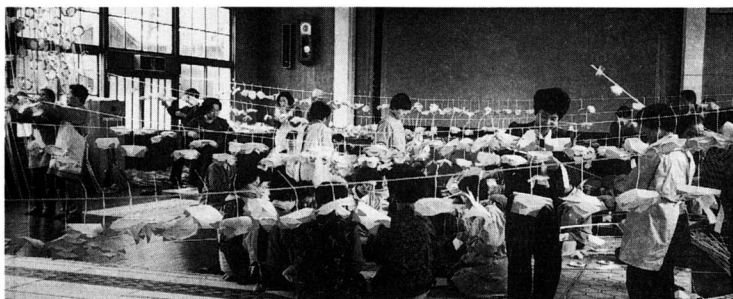
浦安の舞奉納



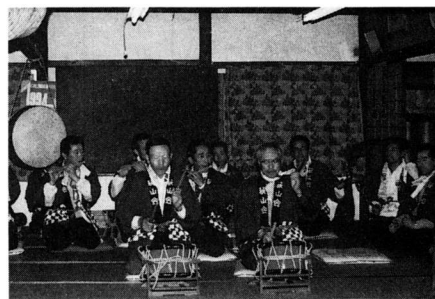
祝獅子



獅子舞（お祭り広場）



お祭り準備



お囃子（荒神様）

萩山郷土芸能保存会

春の発表会

盛大に開催

春祭りにともなう保存会の芸能発表会が去る四月三日(日)好天に恵まれて終了しました。

当日は、絶好の暖かい日射しの中で、囃子屋台、獅子舞い、獅子曳き、浦安の舞いの奉納等の発表会が区民の見守る中、盛大に行なわれました。

なお、祝獅子は三班に分れ四月二日の午後と、四月三日の午前を主力にして関係地域を巡回し、祝い獅子の発表会を行いました。

浦安の舞いは、再興して三年目となり充実して参りました。六人の舞姫が古式豊かに、きらびやかに扇の舞、鈴の舞の芸を披露し里人に大好評を受けることができました。この舞いの歌は、「天地の神にぞ、祈る朝なぎの、海のごとくに波たたせぬ世を」。

この一曲で、ひとつの舞いが構成されている。

平成6年度 下市田区一般会計予算

(1. 収入の部)

(2. 支出の部) (単位: 千円)

区 分	本年度予算額	区 分	本年度予算額
1. 区 費	15,130	1. 総 務 費	12,227
2. 繰 入 金	4,280	2. 厚 生 費	752
3. 町 支 出 金	6,500	3. 林 務 費	866
4. 財 産 収 入	1,465	4. 土 木 費	9,480
5. 寄 付 金	1,300	5. 水 利 費	5,115
6. 消防義務金	2,400	6. 消 防 費	3,030
7. 諸 収 入 金	2,300	7. 公 民 館 費	2,980
8. 前期繰越金	2,500	8. 予 備 費	1,425
合 計	35,875	合 計	35,875

平成6年度 下市田公民館予算

(自平成6年4月1日～至平成7年3月31日)

歳入の部

△印増減(単位: 千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	内 訳
繰 越 金	90	80	10	
繰 入 金	2,980	2,980		区費より
補 助 金	900	900		町より
雑 収 入	2	5	△ 3	預金利子他
合 計	3,972	3,965	7	

歳出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	内 訳
公 民 館 費	3,972	3,965	7	
合 計	3,972	3,965	7	

区の情勢について

区長 下井 武 平

先ず下水道関係については、用地の地権者の役員組織が決まり、いよいよ具体的に話し合いが始まる事になりました。又広域農道についても、地権者の組織が決まり買収単価の発表もあり、町及び県との話し合いに入りました。

下市田地区では、家屋移転が十数戸予定されるとの事です。今後の県との対応が重要課題になると思いますが、之についても区の対策委員会を発足させる予定であります。

町道関係では、一―一―線の下市田保育園西地区で一部設計変更があり、予定より大幅に遅れており、平成六年度にずれ込む事になりそうです。田村線の小川三吉さん前付近は概ね完了し、「あさぎり道路」は、伊藤鉄工所前より北側の拡幅工事が始まっています。新井地籍の松岡城趾公園進入路(広域農道交叉点より木村広一さん宅南)も、舗装を残すのみとなりました。又三区の会所が、去る十二月十九日に立派に完成し、二区の会所も二月五日に上棟式が行なわれました。共に各部落の拠点として利用される事と思います。

消防関係では、第一分団第五班(上市田全区、下市田上段約百六十余戸)の詰所が、去る十二月十九日に完成致しました。

平成6年度 下市田公民館年間事業計画

体 育 部		教養部・視聴覚部	
月日曜	行事名・内容	月日曜	行事名・内容
6/12(日)	下市田区スポーツ大会 ・ソフトミニバレーボール(町体) ・スローピッチソフトボール(町体)	4/2(土) 3(日)	郷土芸能発表会 ・獅子曳き・囃子屋台の撮影 地元出身町議との懇談会
7/17(日)	町スポーツ大会	6/18(土)	萩の里祭り (下市田保育園庭)
8/16(火)	町盆野球大会	7/30(土)	・盆踊り ・お楽しみコーナー
H 7		9/24(土)	区カラオケ大会 (下市田公民館)
2/12(日)	町スポーツ大会(町体) ・ドッジボール	10/15(土)	文化祭り ・クラブ発表 ・作品展
2/19(日)	下市田区スポーツ大会 ・卓 球(町体)	16(日)	文化祭り・敬老会
図 書 部	1. 図書の貸し出し 下市田公民館 二階図書室 ・定期日 毎月15日(但し、8月は10日) 時間 5月～9月 P.M. 8:00～9:00 10月～4月 P.M. 7:30～8:30 ・定期日以外の日(部員不在)備え付けのノートに記入して利用出来る。 2. 図書の購入 6月 3. 新規購入図書の展示 10月15・16日の文化祭り当日 4. 図書の修復及び整理 随 時		

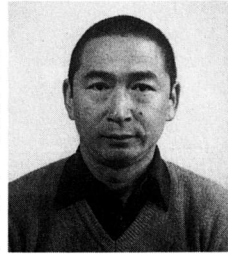
平成6年度 各部落コミュニティ事業年間計画

体 育 事 業		そ の 他 事 業	
月日曜	行事名・内容	月日曜	行事名・内容
4/17(日)	一区スポーツ大会 ・グランドゴルフ(町体) ・ソフトミニバレー(町体)	4/10(日)	四区ふれあい広場 (四区生改センター)
5/15(日)	三区スポーツ大会 ・グランドゴルフ(南小グ) ・ソフトミニバレー(南小体) ・縄跳び(南小体)	7/中	一区ふれあい広場 (中央公園)
	六区スポーツ大会 ・グランドゴルフ (出砂原運動広場)	7/中	二区納涼祭 (二区コミュニティ広場)
8/21(日)	四区スポーツ大会 ・グランドゴルフ(南小グ)	8/上	出砂原納涼祭 (出砂原お祭り広場)
9/4(日)	五区スポーツ大会 ・グランドゴルフ(南小グ) ・ソフトミニバレー(南小体) ・綱引き(南小体)	8/15(月) 16(火) 18(木)	出砂原盆踊り大会 (出砂原お祭り広場)
10/9(日)	一区小運動会(南小グ)	8/18(木)	灯籠流し 町観光協会との共催
11/3(祝)	二区区民運動会 (河原田農試グ) 三区ミニ運動会(南小グ)	10/2(日)	五区独立世帯との交流会 (五区会館)
H 7		10/9(日)	一区交歓交流会 芸能祭(南小体)
1/29(日)	三区卓球大会 (下市田公民館・力行会館)		
2/5(日)	一区卓球大会(町体) 六区卓球大会(町体)		

二年目の抱負

— 公民館各部長 —

教 養 部



一 泰 沢

萩の里祭り、十月に文化祭敬老会を今年も予定して居ります。

日頃教養部の行事に大勢ご参加頂き、御礼申しあげます。行事は二月講演会、六月町議との懇談会、七月

今年の抱負と致しましては、行事を増やしますと部落の役員方の仕事も増え、予算も掛かります。二月の講習会に社交ダンスを行い、好評を頂き、又とお声もあり、希望者が多ければ同好会的集いを企画致しますので、各区の部員までご連絡下さい。

体 育 部



三 孝 倉 謙

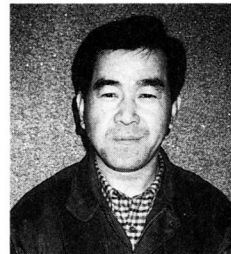
平成五年度の事業も、卓球大会を終え、予定通り終了できました。これも、各部落の役員の方々をはじめ、区民一人一人の御協力のおかげと、お礼申し上げます。

卓球大会には、二組追加し、一人でも多くの人達が参加して頂き、ふれあいの場としていただきたいと思っています。

平成六年度も、そんな意味で六月のスポーツ大会では、新しく「スローピッチソフトボール」を取り入れたり、「ソフトミニバレーボール」では、各区総当りとして、大勢の人達の参加を期待しております。

今年度も、御協力をよろしく願います。

— 激動の社会 —
今こそ『読書』を
図 書 部



保 幸 沢 北

『読書』とは、自分の意志と欲求（自己啓発）による行為です。この気持ちを沸き上げて戴くために、図書部では『利用しやすい図書室』を目指しています。

先日、散らばっていた本を作者毎にまとめて五十音順に整理し直しました。

昨今の社会情勢は、不況・

視 聴 覚 部



孝 俊 島 小

視聴覚部の活動は公民館の行事計画に基づき萩山神社の春祭り、萩の里祭り、カラオケ大会、文化祭等の音響関係の支援を始め、記録保存用のビデオ撮影を行なっております。

二区・三区の 生活改善センターの建設

下二会館に 期待して

部落長 宮沢 務

二区では、現会所を建てて十四年でありますが、時代の流れもありまして、駐

車場が狭くなり会所を作りたいとの願いにより、町区よりの協力を得て新会所の建設に踏み切りました。

二区の将来の展望に立って一番よい場所をお借り出来、一一八坪の立派な木造家屋が出来上がりつつあります。

五月の連休にはお祝いをしたいと関係の皆さん一生懸命頑張っております。

二区 下二会館

図書は何時でも利用出来ます。会合の後などにも是非ご利用下さい。



特に二年目の重点目標は過去に撮ったビデオを含め、各行事等の記録ビデオの編集整理を行ない、公民館の図書室をお借りし、ビデオライブラリーの棚を設置しまして、区民の皆様に出し出来るよう計画しました、どうぞご利用下さい。また、各行事開催時三十分前よりビデオ放映し観賞頂くよう計画して居ます。

また、こんなものを映像で後世に残したい等、有りましたらご相談ください。

今年度も皆様に御協力をお願いいたしますが、よろしく願います。

三区 力行会館



三区コミュニティセンター 「力行会館」の落成

部落長 木下 豊

皆で計画し、寄付等は一切募らず全戸が平等の負担を原則に資金を積立て、町や区の多大な助成をいただき、凡そ三年の歳月と約六五〇〇万円の資金を投じて、総床面積約一三三坪の三区コミュニティセンター「力行会館」が昨年十一月完成し、十二月には盛大に落成式が出来ました。予想以上の出来栄えだと皆が喜んでおり、その後の利用度も非常に高く、今後の部落のコミュニティの拠点として大いに期待しております。

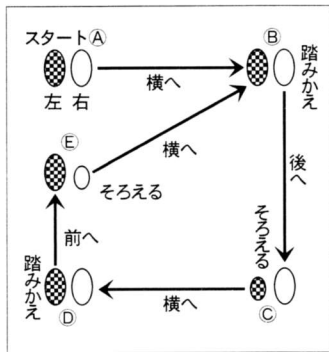
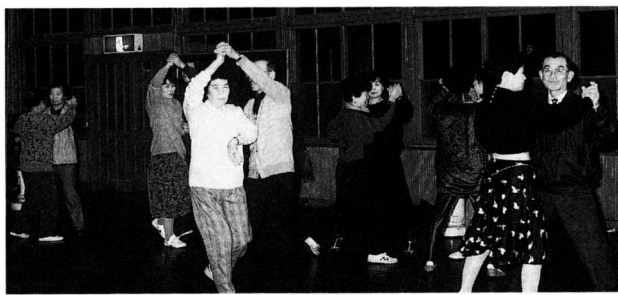
社交ダンス講習会

楽しい!! ダンスの夕べ

去る二月二十三日、下市田公民館が主催する社交ダンス講習会が区公民館で開かれました。

講師に、豊丘村の山本義彦・敏子夫妻をお招きし御指導いただきました。

当日の出席者は、約五十名ほどで、優雅さより、体を動かして良い汗を流そう、という方が多いようでした、講師お二人の鮮かな服装、背筋が伸びた身のこなしを目の当りにし、社交ダンスへの期待が膨らんだようでした。



主催者挨拶の後、講師より、ダンスにはモダン・ラテンなど十六種目ある。踊る際は、男性のリードが大切で、背筋を伸ばし、着かず離れず、ステップは大きく踏まないことなど話を聞きました。講師の模範ダンスの後、ボックススルンバの練習をしました。

替え(図D) 左足を前に出し右足を添える(図E)。
B/Eの連続動作を繰り返せばいい訳です。ペアを替え、何回か曲に乗って踊るうちに心地良い汗をかき、解放感を味わうことができました。

この後、ワルツを教えたいただき時間となりましたが、ステップを覚えた満足感が漂い、とても良い講習会となりました。

講習会に参加して

三区 伊奈川和人

下市田公民館で、初めての社交ダンス講習会が開かれた。私も日頃運動不足でストレスの解消になればと参加させて頂きました。

講師は、豊丘村の山本さん御夫妻で、高森クラブ、高齢者の指導等をされて居るベテランの先生でした。

社交ダンスの正しい取り組みや、種目はラテン、モダンなど十六種類ある等話され、先生の模範ダンスの披露を見学しました。只々見惚れて、ひとときを



過ぎさせてもらい、いよいよ講習会に入りました。

ルンバとブルースの二種目で、男女別々のレッスンを受け、その後組んで本番となりました。

二時間程の限られた時間でしたが、大変こころ良い汗を流すことができて満足いたしました。

今回の講習会を機に、地域の人々のコミュニケーション作り役に役立てばと思います。又、ダンスに対するコンプレックスをなくし、多くの人が、ボケ防止、運動不足解消に取りあげれば良いと思います。

勇気ある男性の参加で再度講習会が開催されますよう期待申し上げて終わります。

楽しかった

講習会

四区 橋都 勲子

講習会の通知がまわって来た。

仕事一筋できた私には、考えてもみなかった事だ。「お父さん、ダンスの講習会があるって、一緒に行ってみるかな。」と呼びかけてみた。『そうだなあ、ちょっと面白そうだなあ、行ってみるか。』「冗談交じりの返事が返ってきた。

二月の寒い夜だった為、当日になると尚出無精になり、ためらった。もう一度誘いかけると、「それじゃあ体操がわりにやってみるか。」と言う事で出掛けた。

役員の方々の挨拶が済んで、早速講師の指導が始まった。初め、ボックススルンバ、次にブルースを足の運び方から反復して練習し、慣れたところでペアを組んで踊った。残念な事に男性が少なかったので同性ペアでちょっと戸惑った。

一時間の予定が調子が上がってきたため、休憩を挟んで又踊り、結局二時間を越えたのではなかったかと思う。終る頃には、来る時と全く異なり、これで終るのは惜しいと思う程でした。

二時間余りの時間が短く、久しぶりに良い汗を流すことができた。関係者の皆様、ありがとうございました。

下市田区

スポーツ大会

二月二十日に、町民体育館において、下市田区の卓球大会が盛大に、開かれました。寒中の寒さにもまけず、試合は白熱し、半ソデ姿の選手も見られ、体育館の中は、熱気にあふれていました。今年は昨年度よりも二試合多い、十三試合が総当たり戦で行なわれましたが、老いも、若きも参加する事が出来、楽しい一日を過ごしました。

結果は次の通りです。

- 一位 一区 二位 六区
- 三位 三区 四位 二区
- 五位 五区 六位 四区



萩山神社例祭

獅子曳き

松王丸

一区 三島亮輔

萩山神社のお祭りで、ぼくは、獅子曳きをやらせてもらいました。

伝統あるお祭りで、ぼくもできるか心配でした。最初はうまくできないナーと

思っていたけれど、だんだん踊り方がぼくなりになってきた。お師匠様や大ぜいのおみなさんのおかげだと思えます。

ぼくは、この伝統あるお祭りをやらせてもらって、ほんとうによかったと思います。



梅王丸
宮下秀樹

松王丸
三島亮輔

桜丸
丸博文

梅王丸

二区 宮下秀樹

ぼくは、こんなのできかなって思っていたけど、だんだんやる気がでてきました。

当日は、本当にもうきちゃったんだなって思いました。メイクの時も、ドキドキしていました。一度目やった時は、やっぱりびくびくしました。でも、二度目は、へいきでした。

みんなが見ていて、こんなにきんちようした役をやってよかったなって思いました。

桜丸

四区 原 博文

出砂原で初めて舞った時は、暑くてきんちようした。友達も見に来てくれた。安養寺から神社までは、いっぱい人が来ていて、ちょっとはずかしかった。

頭がいたくなって少しえらかったけど、休んだりしたときはカッラをはずしてくれたのでたすかりました。ぼくは初めてやったのたいへんだったけど、一生けん命できたのでよかった。

浦安の舞

五区 竹村菊世

四月三日に行なわれた萩山神社の春祭りで、私は浦安の舞を舞わして頂きました。

浦安の舞というのは、ゆったりとした曲調に合わせて扇子や鈴を使う優雅な舞で、扇子さえ持った事のない私が、上手に出来るだろうかと不安でした。

しかし当日、赤い袴で、髪にかんざしを付け、みこさんの姿になっていくうちに、不思議な事に壮健な気持ちになり、本番では堂々と舞う事が出来ました。

そして今では、温かい心遣いをして下さった氏子総代の方々や、先生方に感謝し、貴重な経験をさせて頂いた事を光栄に思っています。

六区 酒井志保

萩山神社の春祭りに、浦安の舞を披露しました。

この舞を舞う為に、合計六人の舞姫達が、約六日間夜仕事の帰りにそのまま公民館に行き、頑張って練習を積んできました。最初の

頃は、お手本のビデオテープを見ながらでしたが、途中からは、そのトラの巻を見ずに練習してきました。

天気にも恵まれ、公民館からお宮までの参道を静々と歩きよい本番、最初は少々緊張気味でしたがここまで来たならと頑張りました。ミスもなくそれなりに上手く出来たと思います。

最初は、舞いたくないと思っていたけれど、貴重な体験ができて本当に良かったです。

最後にこの浦安の舞を関係者だけでなく、より大勢の方々に見て知ってもらいたいと思います。

三区 仲平千栄子

私は、浦安の舞を見たことがなかったので、舞姫を断わろうと思いましたが、「そんなに難しくないよ」と言われて、やってみることにしました。

練習は七日間の予定で始まりました。ビデオと指導の方の見様まねで、舞っていました。歌詩を覚えてくると自分たちだけで舞うことが出来ました。



当日は、よく晴れて気持ちがいい日でした。公民館で支度をし、二度ほど練習をして萩山神社に行きました。一人だけ大きなまちがいをして一生懸命やりました。みなさんから拍手されて安心したというより、自分自身で感激し、良い経験が出来ました。

提言

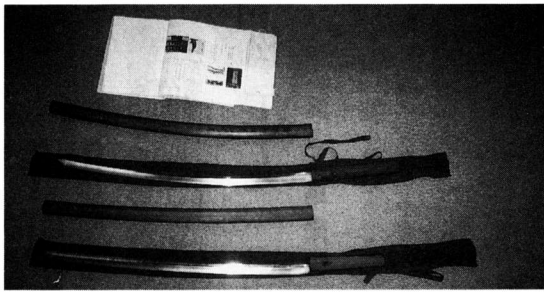
「宝刀の行く方」について

氏子有志

皆さんもご存じのように、萩山神社には、小川米太郎氏の寄進による刀剣二振が社宝として保管されています。

一振は、備前長船の住人則光作、他の一振は同じく左近長光作、いずれ劣らぬ名刀で、この類のものは国宝にも指定されております。

終戦直後、アメリカ進駐軍の強制捜査で没収の心配があり、時の氏子総代衆中（総代長 佐々木半一郎氏）



相謀り、竹筒に入れ、山中の土中に埋め、その危を救った経緯もあります。

しかし、ここ数年前からその一振長光作のものが、贋物にすり替えられているといううわさを耳にするようになりました。

平成四年、下市田史談会が「萩山のさと第二集」の文集発刊を計画した折、その後の「宝刀の行く方」について、ぜひ掲載したいということになり、その原稿を古老の方にご依頼しました。

そこで先ず、うわさにのっている宝刀の真贋について、その疑念を解くため、平成四年一月二十一日、高森町歴史民俗資料館に預けられている宝刀を確かめにいつてきました。（三宅）

実見の結果、長光作のものは見当らず、「なかご」は打ちのめされて傷だらけになった無銘のものにすり替えられていることがわかりました。

その後、数名の者が相寄

り「いつ、どこで」贋物に替ったのか、その真相を究明し、明確にしておくことが大切である……ということになり、その調査にのりだしました。

幸い、不明になった頃の日記・記録が現存しており、また実証できる古老の方もご存命でおいでになります。いま一歩の話ができません。いまになって参りました。

依って、平成四年一月二十五日には、右に関する「調査要望書」を、五年三月十二日には、右に関する「陳情書」を氏子数名で、区長さんと氏子総代長さん宛に提出しました。

区当局では、事の重要性に鑑み、早速調査委員六名を選任され、鋭意その究明に尽力して下さいます。いづれ、調査終了後、文書を以てご報告下さることになっておりますので、その折には改めて結果についてお知らせしますが、各方面から氏子全員に、現況を知らせるべきだ……との強い要望がありますので取り敢えず今までの概要を申し上げることにしました。

平成六年二月二十日

文責 北林 只人

（現史談会々長）

グループ紹介

下市田短歌会

湯沢 正之

昨年十二月、希望者による短歌会を行うこととなり公民館のご協力により申込みを頂きました。本年二月十九日、公民館の出席を頂き、発会式と短歌会を行って発会しました。現在の会員は十九名です。

- 逝きし娘にくちべにを差す母君の七十五才の御手しのぶも 藤松 定子
- 成人にあと幾年か孫汝よ今日は初釜の衣装に華やぎ 原 文治
- 信仰の深さを思ふチベットのカイラス巡る五体倒地に 平沢 忍夫
- 野良猫が食い残したる魚の骨そこより広がる冬の深空 湯澤 正之
- 高嶺より北信五岳眺望し故郷の山河に胸が高鳴る 市瀬 雅子
- シベリヤの零下三十度の冬と雪耐えて生来し囚われの吾 田戸 純市
- 失明告知受けたるは飯田馬場町桜の町にキルティグ材選る 串原 喜代枝
- わが心ふるえる程の感動を記さんと持つノートは白紙 壬生 シズカ
- 冬の陽を体一ぱいうけながら自転車で行く直線道路を 三浦 美穂
- 朝日影かげり持つ身もつつみ行く大地に立てば心洗わる 北沢 歌美
- 木の葉散る池に陽射しの白く光る細々上る冬の噴水 木下 しもゑ
- 血も燃えず暮れ行く春日白梅のさりげなく散る土やわらかし 鎌倉 一女
- 柳の芽ふくらませたる風のあり天竜川原へ犬の綱ひく 寺沢 玉枝
- 真向ひに三遠信道のトンネル開き峽の夜明けの希みふくらむ 篠田 富士
- 初孫の立つかのごとき姿見て喜びつつも吾が齢数ふ 北沢 善二郎
- 落葉掃くほおきの先にまつはれる蟬のむくろが命あるごと 宮外 みどり
- 相談を受けたれど思案のほかにして迷路の壁に真向かひてをり 唐沢 やす子
- 剪定する梅の蕾のふくらみに二月のひかりやわらかに射す 北島 直江
- 花粉症対策グッズ薬局の一等席を陣取る弥生 北林 洋子

ふれあい広場に招かれて

一区 小島鉄治

下市田と町当局の好意によりふれあい広場に招かれて、感想を書いて見る事になりました。高齢化時代となって老人が多くなり、老齢福祉と言われる時代が来た今日このごろです。

高齢になると、寝たきりになることはいやです。自分自身の健康保持の為体を動かして活動することが一

番良い方法と存じます。今

老人クラブなる組織活動が盛んになり、温泉旅行が行われていきます。日本人は風呂好きの国民で、血行も良くなり、長寿世界一とか、人生八十年の時代です。地域ぐるみで良い社会になります。

ふれあい広場になる会合があり、去年と今年二回行きました。保育園児、婦人の舞踊や目をみはる様な良

い演奏に長生きの幸を感じます。

六区 岡本とよ

楽しみにしていた三月三日、萩の郷のふれあい広場に、私達をよんで下さるのだ。お迎えの車の来る時間になりました。集合場所に行くと間もなく車が来てくれました。私達を乗せて一路やすらぎ荘へ。係の方の開会の挨拶に続いて、それぞれ係の方達の入場、下市田保育園児が、保母さんに連れられ入場、区長さんをはじめ、係の方々の、出演の皆さんの大正琴・歌・踊りで充分ににぎやかで、私は我を忘れて過ごすうちに帰りの時間になりました。大変楽しかったです。

保育園児の演奏



この様な楽しい一日を過ごすことの出来ることを考えて下さる、区の皆様にお礼申し上げます。

下市田区に住んで

二区 片桐 宏美

私達夫婦は、平成五年十月に結婚して、夫は豊丘村、私は伊賀良からこの高森町下市田に新居を構え約五ヶ月になりました。

下市田に新居を構え約五ヶ月になりました。昼間は勤めに出ていたため、外に出ることがなく地域のことは、まだよく分かりません。

早くこの下市田に解け込めるように頑張っています。この良い環境の下市田で皆さんのような明るい家庭を築いていきたいです。今年の七月には、家族が

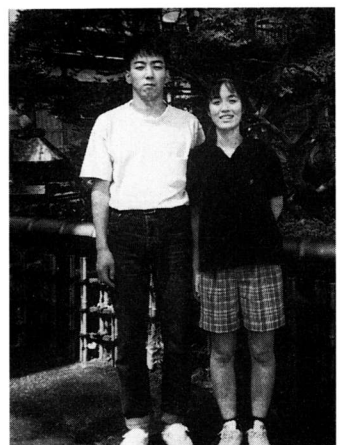
下市田に住んで

一区 野口 健二

以前、この下市田に住んでいた事のある、私にとつて、また縁あって同じ下市田に住む事が出来、非常にうれしく思っています。以前は兄と二人で暮らしていましたが、今回は鼎から一人の子供も下市田保育園にお世話になっていますが、鼎とは違って自然に囲まれ楽しそうに通っております。この自然いっぱい静かな高森町下市田に家族(祖父母、私たち夫婦、子供二人)で永住する事をよろこんでいます。



高森町下市田の住民として、末長いお付き合いをよろしく願います。



地域探訪

下市田の石碑と
石造物(その三)

田口正幸

庚申塔・青面金剛像・猿田彦命碑及び秋葉塔・金毘羅塔について二十六号へ、続いて二十七号には、馬頭観世音碑・蚕玉様の碑・十王像などについて述べました。本号では、道祖神・天満宮・筆塚などの碑とお地蔵様の紹介をします。

道祖神

道祖神碑は部落の辻とか村境などに建てられ、いろいろな信仰を含んでいます。悪魔を追い払い悪い病気が村や部落へはいらないように境を守る神様として祀られ、塞の神とも言われます。また、旅をする人の安全を祈って建てられ、道の神としても信仰を集めました。近くの広場は子どもたちが集って遊ぶ場所となり、いつの間にか、道祖神は子どもたちに親しまれる神様となり、この広場で一年間の健康を祈る正月のほんやりが子どもたち中心に行われ、子どもが立派な若者になると、道祖神は男女の縁をとりもつ縁結びの神となり、子孫繁栄、幼児の守り神様としても祀られるようになった。古くは形の変わった石、陰陽の性を思わせる異形の石を祀った。元禄時代(約三百年前)から神像を浮彫りしたり、文字の碑が建てられた。下市田には神様の碑はなく、写真



道祖神の碑

- ・4区会所裏
- ・天保7年(1836年)建立
- ・高さ 80cm

など、子ども達が米や野菜などと会費を持ち寄ってご馳走を作ってもらい、天神様に供えて会食をし、勉強ができるようにお祈りしました。区内には八基の碑があります。写真は萩山神社にある天満宮碑で、清水庵の寺子屋の師匠児島高智の門弟が建立したものです。



上沼元仙筆塚

- ・3区 上沼正清氏墓地
- ・天保2年(1831年)建立
- ・当村(牛牧村)手習子中
- ・高さ 117cm



天満宮の碑

- ・萩山神社の鳥居の左
- ・嘉永3年(1850年)建立
- ・高さ 107cm

(四区会所裏)のほか、福島秀晃氏墓(共中東)・久保田利明氏東(武陵地二)にあります。

天満宮(天神様)

菅原道真を祀ったお宮のことで天神様と言われ、学問の神様として尊ばれ江戸時代に信仰が広まった。二月二十五日には世話人の家などで、子ども達が米や野菜などと会費を持ち寄ってご馳走を作ってもらい、天神様に供えて会食をし、勉強ができるようにお祈りしました。区内には八基の碑があります。写真は萩山神社にある天満宮碑で、清水庵の寺子屋の師匠児島高智の門弟が建立したものです。



大石のお地蔵様



六地藏様

- ・出砂原 明照寺前
- ・天保12年(1841年)再建

筆塚

穂先がすり切れた筆に感謝と愛惜の情をこめて葬った筆供養塔でしたが、後になって師匠の頌徳謝恩の性格が濃くなった。写真は牛牧で医者をしてながら手習子を教えていた上沼元仙の碑

で右側面に当村(牛牧)手習子と刻んである。
お地蔵様
ひっそりと立っている地蔵様は、私達に何かを語りかけているように感じます。地蔵信仰は奈良時代に伝わり、室町時代に將軍足利尊氏熱心な地蔵菩薩信者であったので、庶民も地蔵様を祀る風習ができたと言われます。江戸時代には、いろいろの信仰と結びついて広まり、特別なきまりもなく、あらゆる願いごとを直接お願いできること、死後にあの世で迷っている者を救ってくれる仏様であることから、急速に信仰が広まった。こんなわけで、子育て地藏・子安地藏・水子供養地藏・日限地藏など何々地藏がたくさんあります。安養寺や松源寺の山門前には地蔵様の坐像があります。
正徳五年(一七一五年)六月の大洪水(未満水といわれている)で、多くの犠牲者を出したのでその菩提を弔うために六地藏を建てたと伝えられ、初めは簡素で小さい像であり破損荒廃したので、百年以上後の天保十二年(一八四一年)再建となった。これは台石に刻まれているが、万日記覚帳(庄屋与三左衛門の記、中村藤氏保存)によれば、原町の石屋利吉の作である。接お願いできること、死後にあの世で迷っている者を救ってくれる仏様であることから、急速に信仰が広まった。こんなわけで、子育て地藏・子安地藏・水子供養地藏を祀り犠牲者を供

小中学生の作文

家族旅行

小五 後藤 研太(二区)



左 研太君・右 あいき君

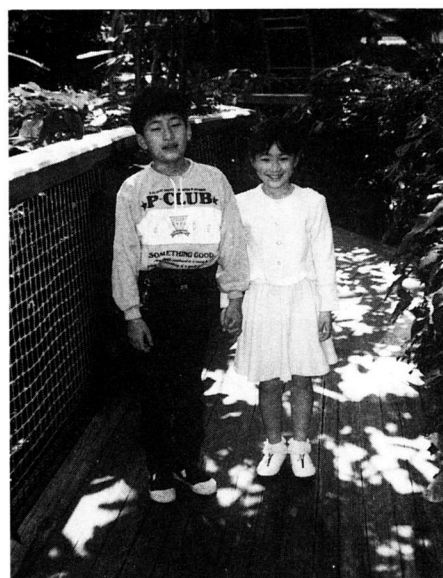
白かば湖は雪がたくさんつもっていて、湖じゃないようでした。湖に乗った、氷がカチコチにはっていたので、ピツケルで、あなをあけてつりました。なんびき

ぼくは家の人たちと、一月三十一日に、白かば湖に旅行に行きました。ピーナスラインを通して行きました。とおくのほうに見える富士山は、雪がかかっていてきれいでした。だからおじいちゃんがカメラをもって、雪の中で、富士山をとっていました。その間ぼくたちは、雪で

かつたら、しょくどうに行つて、おひるもたべずつている、おじいちゃんといきのところに、お父さんがご飯をもつていつてあげたら、おじいちゃんも、あいきも、おいしそうにたべていました。夜ホテルに行つたけど、

うちの犬"カム"

小二 ふじた みき(五区)



左がおにいちゃん・右がみきちゃん

うちのカムは、かわいいよ。カムはね、やくばからもらつてきたけど、ずぼんをおろすくせがついてしまったよ。どうしよう。そんなくせがつくなんて、おもつてもいかなかったのに、だれがくせをつけたの？はんにんもわからない。

僕は、中学に入學して、卓球部に入りました。はじめのうちは、体力作りでした。腕立ちから、はじまり腹筋、肺筋、スクワット、マラソンでした。体力がついてくると、素ぶりとになりました。僕は、あるNさんにおそわつていたので、なんのそのとやつていました。素ぶりができて打てるようになると中体連でした。応援としてでま



右が古瀬君

生は、受験なので、部活にこないようになりました。そして、卓球の大会が開かれるようになると、参加しました。夏休みの部活動にも、休まず出席しました。夏は、昼がながいので、部活の時間も一時間ちよいなので練習もしつかりでき、つかれました。秋の中体連では、僕は補欠としてでました。本当なら、ダブルスで出れたけど、もう一つの

部活

中二 古瀬 賢治(三区)

冬になり、雪が降るようになると、午後の部活が、十五分ていどになり、なくなりしました。午後の部活が、はじまるようになると、あと三ヶ月で中体連となりま

す。今は、非常に練習がかかせません。四月からは、新一年生が来るので、しっかりとしたいです。

随想



交漸寛

(四区)市瀬雅子

先日のお習字で、今の私の気持ちを書き表わしてくれている字を教えてくださいました。

「交わりがしだいに広がっていくこと」という字です。

私は長女が三才の時に同居しました。子ども達にとっては願ってもない良い条件が整いましたが、私にとっては知る人ぞ知る地でした。故郷の幼な友だちや、勤めていた頃の友人は、行き来がなくなったり結婚したりで縁遠くなっていました。そんな中で、CTOII会という大学の寮の会を中心にやってきた友人とだけは繋

米騒動に思う

(五区)北原和子

昨年の冷夏により米が大凶作のため、国産米の極端な不足となり、消費者や外食産業にまで混乱が起きました。米の買いだめや盗難が相次ぎ、新聞やテレビは、毎日のように米に関するニュースやタイ米を美味しく食べる料理法が出て、主婦の関心を引きました。

輸入された外国米は、タイ米が六割以上を占めたようですが、売れ行きは今ひ

馬の親子愛

(二区)北島邦夫

ある朝何気なくテレビのニュースに見入っていますと、北海道で馬の親子が焼死したとの事。普通であれば聞き流してしまうところですが、大変に心をうたれ感動させられてしまいました。良く聞いていますと、その馬舎には生後数ヶ月経った子馬がおり、出火と同時に親馬は、一旦逃げ出したのですが、子馬が付いて来ないので、子馬が再び馬主の制止を振り切って自ら燃えさかる火の中へ飛び込



とつて、やはり消費者も国産米を高く評価している感じがしました。

今、飽食の日本は、国内に無くても食べたいものは、



で行き、それきりになってしまったとの事です。歌の文句に、「お馬の親子は仲良し子良し」と歌われていますが、まさしくその通りの制止を振り切って自ら燃えさかる火の中へ飛び込

外国から輸入すれば何でもありません。しかし、輸入食品の問題点は、残留農薬やカビなどの危険性があります。そして輸入に頼りすぎれば国内の食糧自給率は、低下する一方です。

米の備蓄を怠り減反を強制する農政にも不満を感じます。世界中が飢饉になっただろう対処してくれるのでしょうか？。添加物を気にしながらも輸入に頼らなければ食べていけない現状を私たちも、今一度考えてみたいと思います。

に立った時、はたしてその勇気が出るかどうか疑問に思えます。その朝はともですがすがしい気分です。出社する事が出来ました。

外国では日常茶飯事の如く、銃でのトラブルが起き、国内に目を向けると犬の調教師の大量殺人、美容院でのトラブルと考えるバラバラ殺人等、情のかけらも無い事が平然と起きています。私はこの事件を機に、改めて親子の愛情の深さというものを感じさせられ、今ここにこの勇気ある馬に拍手を送りたいと思います。

編集後記

桜花も散り野山一面に活気がみちてきました。第二十八号の原稿を各方面から寄せて頂きありがとうございました。

行事として萩山郷土芸能の春の発表会(獅子曳き、獅子舞い、囃屋台、浦安の舞)、萩の里ふれあい広場、社交ダンス講習会、卓球大会を、区の情報として、区の予算、公民館の予算と各部の事業計画、各部長の抱負、二区、三区の生活改善センターの建設問題を取りあげ、毎号継続している小中学生の作文、グループ紹介、転入区民の感想、地域探訪など記事と写真で編集しました。特に今回は提言として萩山神社の刃剣について寄稿を頂きました。この件については、再寄稿があるものと考えています。

今回は、寄稿数が多かったので次号へ転載する原稿もありますが、ご了承ください。皆さんの投稿をお待ちしています。